

梅雨入り。猛暑の兆し。私たちは元気です。

6月も後半、ようやく梅雨入りとなり、気温も30℃を超える日が出始めています。配送車両の室内温度は急上昇、LPガス容器が設置されている場所は屋外ですから、水分と塩分の補給や十分な睡眠、帽子の着用など熱中症対策は欠かせません。

昨年のこの時期、元日の震災で甚大な被害を受けた後、復興に向けて歩み始めたところに再び震度5強が襲い、回復ムードに冷や水を浴びせる格好となりました。わが社の所在地は、震源の輪島・珠洲から約100km離れていますが、配送にうかがう先の家屋、路面の所々にはまだ爪痕が残っています。コロナ感染者も減ったとはいえ

右:シリンダー配送車



左:バルク配送車

罹患者は出ており油断大敵。人が集まる場所へ立ち入る際のマスク着用などは任意ですが、毎日の検温と記録は続けています。LPガスの消費が完全に回復して仕事が増えてもしっかりと供給責任を果たせるよう、私たちの準備は出来ています。

配送先のお客様から「大変やね、いつもありがとう」のお言葉。元気百倍です！